



給食への異物の混入原因・経路と再発防止策について

令和4年12月12日付けで情報提供したことについては、当面の対応として炊飯米を別の業者から調達しておりましたが、従来の炊飯業者が炊飯釜など設備の更新や点検体制を整備したことで、再発防止策を講じ、安全を確保いたしましたので、3学期の給食からは従来の炊飯業者から調達し提供いたします。

(参考)

○12月12日付けの情報提供内容

令和4年11月22日（火）に発生した横路小学校での給食への異物混入の原因の特定と再発防止策について

令和4年11月25日（金）から従来とは別の炊飯業者からご飯を調達し、当面の対応をしておりましたが、異物混入の原因が特定できましたので、次のとおり情報提供します。

- 1 混入経路 炊飯釜の一部が剥離し炊飯米に混入
- 2 異物 アルミニウム、ケイ素、鉄、銅などを含む金属
- 3 原因 炊飯釜の老朽化
- 4 再発防止策 炊飯釜の再加工・買換と定期点検の徹底
- 5 今後の方針 炊飯釜の再加工などが完了する3学期より、従来の炊飯業者から提供予定

○11月22日に発生した給食への異物混入についての概要

- 1 日時 令和4年11月22日（火）12時30分頃
- 2 場所 呉市立横路小学校 6年生3組
- 3 内容
 - (1) 本日の横路小学校の給食において、「鮭そぼろご飯」に、数ミリの金属片のようなものが混入しているのを6年生児童1名が発見しました。
 - (2) 校長が児童の安全確保のため、直ちに全児童に「鮭そぼろご飯」の喫食中止を校内放送にて指示しました。
 - (3) 異物を口にするなど、健康被害を訴える児童はいませんでした。
 - (4) 異物と混入経路については、現在、原因を調査しているところです。